

受付印

A

C

提出日 松山市 二番町四丁目7-2

フリガナ マツヤマ タロウ 氏名 松山 太郎

個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2

1月1日の住所 方書 生年月日 明・大 昭・平 令 42 年 10 月 10 日生

職業・勤務先 (株)〇△商事 屋号 電話 〇〇〇-△△△△

代理申告

続柄 税理士

氏名 四国 一郎

添付台紙 PC入力

寄附金 専従者

3. 所得から差し引かれる金額に関する 配当・譲渡所得申告不要制度 適用(一部)

B

Aに住所・氏名・電話番号等のご本人様に関する情報を記入し、どの所得に対して申告不要制度を選択するかBに記入してください。

税理士による申告など、代理申告をする場合はCに代理人氏名と続柄を記入してください。

配当・譲渡所得について、申告する所得のみご記入ください。

それ以外の収入・控除については記入しなくてかまいません。

13	国保・後期・介護・国年・源泉徴収その他	支払った保険料	円
23 扶養控除	1	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	控除額 万円
	2	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	控除額 万円
	3	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	控除額 万円
	4	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	控除額 万円
16歳未満の扶養親族 (控除対象外)	1	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	
	2	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	
	3	フリガナ 氏名 生年月日 同居・別居の区分 続柄	
26 雑損控除	損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類	損害金額 保険金などで補てんされる金額 差引損失額のうち災害関連支出の金額	円 円 円
27 医療費控除	支払った医療費等	保険金などで補てんされる金額	円 円

1 収入金額等	事業	営業等	ア		
		農業	イ		
	不動産		ウ		
	利子		エ		
	配当		オ		
	給与		カ		
	雑	公的年金等		キ	
		業務		ク	
		その他		ケ	
	総合譲渡	短期		コ	
		長期		サ	
一時		シ			
2 所得金額	事業	営業等	①		
		農業	②		
	不動産		③		
	利子		④		
	配当		⑤		
	給与		⑥		
	雑	公的年金等		⑦	
		業務		⑧	
		その他		⑨	
	⑦~⑨の合計			⑩	
	総合譲渡・一時			⑪	
①~⑥、⑩~⑪の合計			⑫		
4 所得から差し引かれる金額	社会保険料控除			⑬	
	小規模企業共済等掛金控除			⑭	
	生命保険料控除			⑮	
	地震保険料控除			⑯	
	寡婦、ひとり親控除			⑰~⑱	
	勤労学生、障害者控除			⑲~⑳	
	配偶者(特別)控除			㉑~㉒	
	扶養控除			㉓	
	基礎控除			㉔	
	⑬~㉔の合計			㉕	
	雑損控除			㉖	
医療費控除			㉗		
㉕~㉗の合計			㉘		

裏面にも記入する欄がありますから注意してください。

5. 給与所得及び年金所得以外の市町村民税・道府県民税の納税方法

給与から差引き(特別徴収) 自分で納付(普通徴収)

「個人番号」欄には、個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。)を記載してください。

※この下の欄は記入しないでください。

控配	特定	老人	年少	その他	障害者	専従者	本障	寡婦	ひとり親	調整	次申	国基礎	480,000	国生命	国控除計
												本専		国地震	公的年金等以外の合計所得金額

地方税法附則第4条の4の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」に「1」と記入してください。

